

ジョンとヨーコが描いた平和な世界を知ろう！

- 1) 提案者：永倉由里
- 2) タイトル：Reading: Ad in the New York Times
Songs: Imagine, Happy Christmas, What a wonderful world
- 3) 媒体：テキスト Ad in the New York Times (written by 永倉)、Music 曲
- 4) 使用教材：Text 236 words Flesch Reading Ease : 69.7
Imagine, Happy Christmas, What a wonderful world の歌詞
補助教材：YouTube 映像または音声
Imagine → <http://www.youtube.com/watch?v=yRhq-yO1KN8>
Happy Christmas
→ <http://www.youtube.com/watch?v=yN4Uu0OlmTg>
What a wonderful world (イントロのセリフ入り)
→ <http://www.youtube.com/watch?v=2nGKqH26xlg>
- 5) 対象生徒：レベル1(標準レベルまでの高校1年生対象 英検3級～準2級程度)
- 6) 戦争・紛争の20世紀を経て、日常的な文明の衝突の時代を迎えています。ジョン・レノンの主張した「平和」の形を知り、自分なりの「平和観」を描く。
彼に強い影響を与えたのが日本人女性であることも興味深い。Happy Christmasでジョンのメッセージを確認し、What a wonderful world (タスク付き)につなげて、平和について考えましょう。ここにあげた歌を利用した教材は、ディスカッションやエッセーライティングへの導入として最適です。心と頭を柔軟にしてくれます。
- 7) 本授業プランの特徴・作成にあたって努力した点
あえて時間をかけ、じっくり歌の内容を味わい、くみ取ったメッセージから様々な活動につなげていただきたいと思います。ワークシートはほんの一例ですので、取捨選択して下さい。もちろん、とっておきの盛り上がる活動があればぜひ教えていただきたいと思います。

本プロジェクトの指導法の7原則を活かすよう作成しました。

- (1) 繰り返し味わうに足る内容・英文ともに豊かな教材を用い、
- (2) 推論発問・評価発問を用いてテキストの深い理解を養うとともに、グラフィック・オーガナイザーを活用して訳読以外の直読直解型の内容理解活動を行い、
- (3) リスニングやリーディングの自己目的化を防ぐために目標とする頂上タスクを設け、
- (4) 読んだ物語について感想や意見を出し合い、
- (5) 扱った論説文について疑問・意見・対案等を出し合い、

- (6) 生徒の創意工夫に満ちた調べ学習によって授業内容を深化・拡充し、
- (7) 意味ある課題を通して重要文法事項を spiral 的に学ぶ

8) この単元の目的

- (1) 補助教材 (YouTube 映像、挿絵) を利用し、知性のみならず感性を刺激し、論説文を理解し、歌のメッセージを味わう。
- (2) 時間をかけて、現代社会の諸問題を意識させながら、思考を促す活動を行う。
- (3) テキストを参考にして、自らのアイディアを発信する。発表し合い、自己評価や相互評価を行う。

9) この単元の頂上タスク

豊かで平和な美しい世界への第一歩を提案する (ミニ・スピーチ)。

1 0) 教材の配分: 50 分授業を下記の 6 回に配分する。

1st period: テキストを読み、概要を理解する。Activity 1, 2, 3。

2nd period: テキストの Activity 4 とワークシートの Activity 5, 6, 7。歌い込み。

3rd period: Happy Christmas テキストの Activity 8, 9, 10 とワークシートの Activity 11, 12, 13 & 14 (宿題)。歌い込み。

4th period: What a Wonderful World。テキストの Activity 15, 16, 17。歌い込み。

5th period: What a Wonderful World ワークシートの Activity 18, 19, 20。

ミニ・スピーチ 'The very small step' の原稿作成へ。

6th period: ミニ・スピーチの発表会。

1 1) 各 period の展開案

1st period の授業展開

① 《オーラル・イントロダクション》 オノ・ヨーコが出した新聞公告を見せて (5分)

T: Look at this. What is it? When was this paper put out?

S: ...

T: I'll give you some hints. In 2001 ..., New York ...,

S: 9.11

T: That's right. What does this ad mean? Can you read it? Now let's start!

② 《'Ad in the New York Times' リーディング》 平易な英文です。時間を測るとよい。

T: Now try to read through the passage. When you finish reading, look at the stop watch, and then go on to the True-or-False Quiz. (7分)

③ 《T/Fで内容理解》 答 ①T ②T ③F ④T ⑤T (3分)

- ④ 《'Ad in the New York Times' 音読》 [教師のモデル・リーディングに続いて] 全員で音読。その他にも、
- (a) ペアで交互に読む、
 - (b) フレーズで区切って読む、
 - (c) ペアで、生徒Aのフレーズ読みに続いて生徒Bがテキスト見ないでリピートする、
 - (d) あらかじめ好きな文を3文選ばせ、その部分が来たら立って音読する (タケノコ読みと呼ばれています) など、目先を変えて挑戦させるとよい。 (5分~15分)

⑤ 《'Imagine' Activity 1》曲を流し、生徒は聞こえてきた語句を○で囲む。 (5分)

- ⑥ 《Activity 2》 解答例 ①heaven ②hell ③sky ④countries ⑤kill ⑥religion
⑦peace ⑧dreamer ⑨one ⑩hunger

⑦ 《Activity 3》曲を流しながら、表をうめる。 (3分)

解答例 heaven⇔hell easy⇔hard below⇔above live⇔die

⑧ 《歌い込み》 曲を流して、繰り返し歌う。「連結」「脱落」などの音法について説明し、リエゾンやカッコを書き入れさせてもよい。歌詞の内容を理解して歌えるようにさせたい。ワークシート集の最後にある **Optional Activity** を参考にして下さい。(6分~10分)

⑨ 《課題の提示》 YouTube 等の音源を利用し、歌を練習してくるよう指示する。

2nd periodの授業展開

① 《復習として Activity 4》 曲を流し、各段落の内容と合うイラスト選ぶ。(5分)

解答例 上から<A>

② 《ワークシート Activity 5》 曲を流しながら、表(ワークシート p.1)をうめる。(10分)

一概にどちらがheavenともhellとも言えないので、自然に意見交換が始まるかと思います。日本語でも構わないので、ディスカッションの時間を与えましょう。

③ 《ワークシート Activity 6》 <グループ・ワーク>できれば実際に経験したことを英文にさせる。

順番に、音読して、Q&Aにつなげる。(ワークシート p.2) (15分)

④ 《ワークシート Activity 7》<グループ・ワーク>重要表現を使って級友へのメッセージを作り、

順番に、音読して、ベスト・メッセージを選ぶ。(ワークシート p.2) (10分)

3rd period の授業展開

① 《オーラル・イントロダクション》 オノ・ヨーコが出した新聞公告を見せて (5分)

T: Do you know this song? It's one of the most popular Christmas songs. As you know we have a lot of Christmas songs. For example ...?

S: Silent Night.

T: Yes, and ...

S: Rudolph the red-nosed reindeer.

T: Sure, it is. And ...

T: The title of this song is Happy Christmas. It is one of the anti-war songs like Imagine. I'm sure you will be moved to listen to this song and understand the messages from John and Yoko.

By the way, can you hear the very start beginning of this song? That part is so low that you can hardly hear it.

S: ...

T: Be quiet! Try to listen to it, again.

S: ?

T: It says, "Happy Christmas Kyoko. Happy Christmas Julian."

S: Who is Kyoko?

T: Kyoko is Yoko's first daughter she gave birth to before she married John.

S: Who is Julian?

T: Julian is John's first son he had before he married Yoko. John and Yoko couldn't meet them even in the Christmas season. They must have wished to say Merry Christmas to them. Now let's start today's lesson.

Christmas Songs

We wish you a merry Christmas

Amazing Grace

O Holy Night

Ave Maria

Let it snow

Santa Claus is coming to town

Silent Night

White Christmas

All want for Christmas is you

マライア・キャリー

クリスマス・イブ 山下達郎

恋人がサンタクロース 松任谷由美

Last Christmas Wham

ロマンスの神様 広瀬香美

② 《Activity 8》 曲を流し、生徒は聞こえてきた語句を○で囲む。 (5分)

③ 《Activity 9》 曲を流し、空所をうめる。必要なら曲を2回流す。 (4分~8分)

解答例 ①strong ②poor ③white ④red ⑤dear ⑥young

Imagineの《Activity 5》を参考に、heaven グループに赤マル、hell グループに青ラインをつけてもらうのもよい。

④《Activity 10》 歌詞の内容を読み取る活動です。

〔例〕 親しい(dear)人たち	〔例〕 家族、友達 (AさんとBさん)
近しい(near)人たち	上の親しい人たちと同じ意味
年配の人たち	祖父に先立たれて寂しそうな祖母
若者たち	就職活動中の先輩

〔例〕 弱い人	〔例〕 自分の抱える問題をすぐあきらめてしまう人、権力者に対して弱い立場の人
強い人	健康な身体と経済力があり、自分の意見を主張できる人
裕福な人	豪邸に暮らし、高級車に乗り、したいことができる人
貧しい人	貧しさゆえに、したいことをあきらめなければならない人

〔例〕 黒人の方々	奴隷として扱われた時代があった。人種差別の対象となった時代があった。市民権運動→人種差別は違憲に
白人の方々	ヨーロッパで繰り返された戦争、第二次世界大戦、独立戦争
アジアの人たち	第二次世界大戦、ベトナム戦争など
アメリカ先住民	差別された時代があった。

*注 今日では、東洋人を'yellow'、ネイティブ・アメリカンを' red' と呼ぶことは、差別用語と考えられています。

- ⑤ 《歌い込み》曲を流して、繰り返し歌う。「連結」「脱落」などの音法について説明し、リエゾンやカッコを書き入れさせてもよい。歌詞の内容を理解して歌えるようにさせたい。ワークシート集の最後にある **Optional Activity** を参考にして下さい。(6分～10分)
- ⑥ 《ワークシート Activity 11》<グループ・ワーク> 曲を流しながら、例を参考にして級友に尋ねる英文を作り、おもしろそうなものから順位をつけて提出させる。
(ワークシート p.3) (10分)
- ⑦ 《ワークシート Activity 12》<ペア・ワーク> イラストの要領で「違い」や「共通点」を発見する。
おのずと Q&A 活動が始まるので、適当な時間を与える。(ワークシート p.3) (10分)
- ⑧ 《Activity 13》<ワークシート p.4 の様式でコメントを書く> (3分)
- ⑨ 《課題の提示》(1) YouTube などの音源を利用し、歌を練習してくるよう指示する。
(2) 《Activity 14》の問題 を解いて、できた英文を音読練習してくるよう指示する。
(ワークシート p.5)
答：1(カ) 2(キ) 3(ク) 4(エ) 5(ア) 6(サ) 7(コ) 8(ス) 9(シ) 10(チ) 11(ケ) 12(ウ) 13(リ) 14(イ) 15(セ)

4th period の授業展開

- ① 《オーラル・イントロダクション》 ルイ・アームストロングの写真を見せて (5分)

T: I'd like to introduce another beautiful and touching song to you today.

Look at this man. Who is he?

S: ...

T: His name is Louis Armstrong. He was a jazz musician, and very good at playing the trumpet. Now listen to his song.

- ② 《'Louis' Message' リーディング》 イントロの部分のセリフです。曲を流しながら目で追う→

音読→下の注を利用して内容理解→曲を流して確認。 (10分)

- ③ 《歌詞の音読と内容理解》

[教師のモデル・リーディングに続いて] 全員で音読。その他にも、(a) ペアで交互に読む、(b) フレーズで区切って読む、(c) ペアで、生徒Aのフレーズ読みに続いて、生徒Bがテキスト見ないでリピートする、(d) あらかじめ好きな文を3文選ばせ、その部分が来たら立って音読する (タケノコ読みと呼ばれています) など、目先を変えて挑戦させるとよい。 (5分~10分)

- ④ 《Activity 15》 曲を流しイメージに合うイラストを○で囲む。 (5分)

A→D→I→G→C→H→F→B

- ⑤ 《Activity 16》 曲を流し、空所をうめる。必要なら曲を2回流す。 (4分~8分)

解答例 ①too ②you ③blue ④clouds ⑤day ⑥dark ⑦colors

⑧sky ⑨by ⑩friends ⑪do ⑫love ⑬crying ⑭watch ⑮know

- ⑥ 《Activity 17》 《歌い込み》 曲を流して繰り返し歌う。「連結」「脱落」などの音法について説明し、リエゾンやカッコを書き入れさせてもよい。ワークシート14の指導例を参考にして下さい。 (5分~10分)

- ⑦ 《課題の提示》 YouTubeなどの音源を利用し、歌を練習してくるよう指示する

5th period の授業展開

① 《ワークシート Activity 18》①曲を流し、素晴らしい世界にあるもの、あるべきものを [なるべく英語で] 空所書き入れる。解答例 **food, love, peace** など (5分)
続いて、これらを表す「英文」をノートに書く。グループで発表し合う。(10分)

②解答例 **Schools will help children grow and be educated properly.
Love will help people lead a happy life.**

④ 《Activity 19》曲を流しながら、素晴らしい世界にあるべきではないものを [なるべく英語で] 空所書き入れる。

解答例 **war, murder, betray** など (5分)
続いてグループで発表し合う。(10分)

② 《Activity 20》ミニ・スピーチの原稿を作成する。**Brainstorming** で思いつくこと、3曲から印象に残ったフレーズなどを書き出すように伝えます。

続くワークシートには、「一つの小さな一歩が次の何かにつながり、やがては大きな変化につながる」といった談話形式を例にあげましたが、提案の仕方は授業者が自由に決めて下さい。

④ 《課題の提示》次回の発表に備え、作文を完成し、ミニ・スピーチの練習をする。

6th period の授業展開

① 《Activity20》のミニ・スピーチの発表。全員の前でおこなってもよいが、時間の関係でグループワークにしてもよい。

＜グループ・ワーク＞ 3人グループを作り、グループ内で発表。楽しみながらできる相互評価の方法を紹介します。一人終わるごとに聴き手の二人が「2つ褒めて1つアドバイス」をする。3人とも終わったら、「3,2,1」でベストスピーカーを同時に指差す。代表が決まったら、その他の二人が「紹介」と「推薦理由」を担当し、「スピーチ」を応援する。

S1: The next speaker is (). The title is ().

S2: His idea is very unique and interesting, and his English is easy to understand. Please enjoy ()'s speech.

S3: Hello. I'd like to ... Thank you for listening.

< 3人が全体の前で発表>簡単にできる相互評価を紹介します。内容がわかりやすかったら拍手を1回、チームとして工夫がなされていたら拍手を1回、個人的に気に入ったら1回と決めておき、「3,2,1」で一斉に拍手をしてもらう。意外に公正かつ厳しく、微笑ましい相互評価ができる。また、事前にスピーチ原稿を提出するよう指示しておけば、教師がライティングをチェックできる。

②《歌い締め》余裕があったら、**Imagine, Happy Christmas, What a wonderful world**の中から生徒が希望する歌を歌う。

では最後に、John の残した名言の中から筆者の好きなフレーズをあげておきます。

『Beautiful Boy』より。あれこれ準備しているうちに過ぎていくのが人生だ
Life is what happens to you while you're busy making other plans.

『Mind Game』より。愛とは、育てなくてはいけない花のようなもの
Love is like a flower--you've got to let it grow.

『Strawberry Fields Forever』より。
目を閉じてれば、生きるなんて楽なことさ。目を開けてるから誤解が生じるんだ
Living is Easy with Eyes Closed, misunderstanding all you see.

ひとりで見る夢はただの夢、みんなで見る夢は現実になる
A dream you dream alone is only a dream.
A dream you dream together is reality.

夢を見すぎだと言うかもしれない、でも夢を見てるのは僕だけじゃない
You may say I'm a dreamer, but I'm not the only one.